



身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.12.24

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

1月の石神井川観察は、1/13(木)、1/28(金) 9:40JRマンション前
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

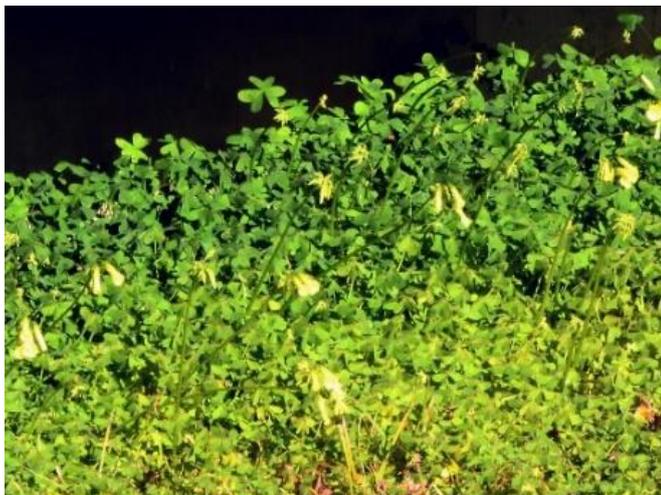
12/24 AM9:40 現在 5.8℃
寒い冬の朝なのに

JR 社宅前歩道は 花と蕾の咲き乱れ

こんなところで
春が盛り→



上段左からイヌタデ、メマツヨイグサ、カラスノエンドウ(展葉)
下段左からオキザリス(キバナオオカタバミ=JR社宅裏庭)、ハキダメギク
次ページにも続きます。





1 段目左からカモジグサ（まだ開花中）、
 アメリカフウロ（蕾）、カタバミ
 （小さくポツンと開花）、2 段目左からノゲ
 シ（1 年中開花）、オランダミミナグ
 サ（蕾）、3 段目ペラペラヨメナ



ラニーニャ現象による厳冬も地球温暖化の産物だと考えれば

←茎も葉も細かい毛が密集していて冬の寒さから身を守っているフラサバソウ。普通は2月初めに開花し、ヒメオドリコソウやオオイヌノフグリにとって代わって、近年では「春一番」の草になってきていますが、もう蕾を付けていました。早すぎる！ でも、ラニーニャ現象による厳冬も

地球温暖化がもたらした現象だと考えれば、「冬なのに春が来る」というのもうなずけます。